

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		生涯学習センター管理運営					所管	教育委員会 生涯学習課
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標]						
		[小 柱]						
		[施 策]						
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	生涯学習センター条例及び条例施行規則				
	事業対象	区内在住・在勤者等の個人及び団体						
	事業目的	区民が地域活動や学習活動に参加でき、快適に利用できる施設の管理運営を目的とする。						
	事業内容	生涯学習センターの管理運営 施設の貸出(ミレニアムホール及び各会議室等)及びマルチメディアルームの管理運営						
委託の有無	一部委託	委託内容	受付・設備・清掃・警備					
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	開館日数	日	332	330	331	332	
		成果指標	利用者数(延べ)	人	360,000	355,099	353,892	381,685
	利用率		%	70.0	70.5	69.0	66.6	
	決算額 (単位:千円)				214,678	213,712	201,025	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			24,089	19,354	26,977	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			214,616	213,585	200,922	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			63	128	103	
		総経費			238,768	233,067	228,002	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			49,470	48,016	48,065	
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0			
一般財源(区負担額)			189,298	185,051	179,937			
前回評価から改善した事項	修理や保守のための工事請負費等のコストが大きく増えないよう、必要箇所は事前に把握し、計画的な予算執行をしている。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	サークル・学習活動をするうえで、多くの方が利用できる施設として必要である。また、複合施設として来館者の増加が見受けられ、必要性は高い。					
	効率性	3	受付等の委託により事務の効率化、また、利用者の利便性の向上が図られている。					
	手段の適切性	3	修繕等の日程・時間確保を工夫して行っており、円滑な施設維持管理ができています。					
	目的達成度	3	大半の会議室は高い利用率であり、利用者数は増えている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
利用者数が増えていることから、必要性は依然高く、台東区の生涯学習の拠点としての役割を果たしている。利用者は増加傾向にあり、利用率及び利用者の利便性向上のため、引き続き検討や改善を積極的に行い、運営していく。					維持			